

ふるさとの特産品あれこれ

東京秩父別会会長 大西 倫利



この度、東京秩父別会の赤松淳次会長が勇退されたことを機に、去る3月開催された役員総会に於いて、私が新会長に推挙され就任することになりました。

引き続き北海道ふるさと会連合会の一員として、運営理念でありますふるさと会相互の交流と親睦そして、郷土北海道発展のために微力ながら力を尽くす所存でございます。

さて、ふるさと秩父別町の特産品は独自の製造技術によって確立された美味しい人気商品に育ちました。先ず初めにトマトジュース「あかずきんちゃん」と、お米「ゆめぴりか、ななつぼし」はこれまでに、ふるさと会連合会誌でご紹介いただくことで知名度の向上に繋がりに知られるようになりました。今回は、トマト、お米以外のふるさとならではの二つの新鮮食品をご紹介します。

その一、

「笹だんご」の特長

○ 自然の笹の葉のかぐわしい香りを生かした食感のある笹だんごです。

○ 甘味にこだわった、あつさりタイプの餡を使用し美味しさを引き出しました。

○ 白・よもぎ・きな粉の3種類を組み合わせたパック詰めと、化粧箱入りの2種類があります。



化粧箱 5 個入り 1 箱 580 円

○ 「完熟かぼちゃポタージュ」の特長
低農薬栽培

培で完熟した「みやこかぼちゃ」で作りました。

○ 牛乳を加えて加熱するだけの簡単調理で、栄養豊富な食品です。

これらの商品はおよつ感覚で召し上がることで出来るため、秩父別町が推奨する唯一の新鮮食品であります。よって、トマトジュース、お米等と同様に買い求めいただきたく

「ふるさとノート」

東京・別海ふるさと会会長 新家 鶴男



我が「別海町酒場」神田東口店に一冊のノートが置いてある。特に名前があるわけではない。店にきた人に気軽に書いてもらうためのものである。先日、久しぶりにこのノートを開いてみた。「郷愁の思い」、「食材への思い」、「懐古の思い」などいろいろな思いがありました。ご紹介します。

● 24 年では

3 / 11 竹原佳奈子さん（中標津町出身）「別海町酒場で働いてます。」（残念ながら現在は退職しています）

3 / 13 中原信広さん（日本ハムファイターズ首都圏事業部）「別海町酒場と



ご案内申し上げます。

尚、恒例の一般販売は、秋に行われる北海道直フェア「東京秩父別会」の会場で行いますので、皆様のご来場を機に新鮮食品についてお尋ね下されば幸いです。



150g 入り × 2 袋詰め
1 パック 450 円

同じように、日ハムの応援よろしく願います。」

3 / 22 「東京根室会 3 人で来ました。『北の勝』おいしいな。」

4 / 8 阿部さん（別海町出身）「久しぶりに別海町へ戻った感じがして嬉しかった。東京へ来て 4 / 5 年になります。」

4 / 21 柳田幸子さん「別海町西春別の旧市街に 13 年間住んでいました。別海町は第二のふるさとです。」

9 / 17 加藤知美さん（中西別出身）「就職で名古屋に来ています。いつか別海町に帰る日を夢見て。美味しかった。」

● 25 年には

5 / 27 タミコ & タカ「はじめてきました。牛乳、ラーメンサラダ美味しかった。」

6 / 1 きのしたさん（整備工場）、木下さん（郵便局）、佐久間さん（酪農）（みんな西春別出身）「3 人できました。別海町大好き。ありがとう。」

と、いろいろな思いがこぼれていました。



新キャラクター「りょうしくん」

やはり故郷は素晴らしいものだと思いためて感じさせられました。

去る 6 月 30 日、別海町観光協会公式キャラクター「別海りょうしくん」が誕生し、「尾岱沼えびまつり」で披露されました。

ウシで職業が熊師のりょうしくんは、ズボンにつけた「サケゾー」、「エビまる」、「みるち」の仲間とともに、これから別海町の各種イベントに登場します。皆さんどうぞかわいがってください。よろしくお願ひします。

日高昆布の専門店、小売も致します。

日高根昆布醤油 塩分9%
日高昆布醤油 塩分13%

北海道海産物総合卸商社
マルエー商事株式会社
橋爪 年幸（東京模似会 会長）

本社 北海道様似郡様似町西町163-1
TEL 0146-36-3823
東京支店 東京都多摩市勾当台687-1
TEL・FAX 042-339-6471